

## 第5章 マスタープラン策定に向けた視点

### ■検討すべき課題と視点

◆中野市全体、部門別にみた課題	
■雪に強いまち・みちづくり	●
■千曲川流域等の安全対策	●
■地域連携、都市防災面からの対策	●
■地域の歴史や文化の継承	●
■少子・高齢社会への対応	●
■コンパクトシティの構築	●
■適正な農地の保全	●
■遊休荒廃農地の活用方法	●
■周辺市町村からの吸引力が強い中野商圏の維持	●
■市内観光拠点の連携	●
■インター周辺の土地利用の検討	●
■高速交通網を生かす施策	●
■中野地域と豊田地域を結ぶバイパス整備の推進	●
■都市計画道路の見直しと計画的な整備	●
■公共交通の利用促進と維持	●
■身近な公園の確保	●
■市域の一体的な都市づくり	●
■都市計画区域拡大の検討	●
■用途地域の見直し	●

  

◆住民意向調査（アンケート）からみた課題	
■慎重かつ計画的な都市計画区域の検討	●
■建物用途の適正な誘導	●
■農地や自然地の保全施策	●
■遊休荒廃農地の活用	●
■身近に利用できる商店の充実	●
■生活道路の改善	●
■ユニバーサルデザイン化	●
■公共交通の活用と維持	●
■身近な公園の拡充	●
■都市防災上の空地確保	●
■歴史・文化財の保全	●
■住民協定や景観計画等の検討	●

  

◆地域別からみた課題	
■観光地の連携と魅力づくり	●
■インター周辺土地利用の適正化と活性化	●
■用途地域等の検討	●
■宅地と農地の整然化	●
■優良農地の保全、遊休荒廃農地の活用	●
■築堤整備など水害対策	●
■都市計画道路を含めた道路網の見直し	●
■バイパス整備の促進	●
■公共交通の活性化	●
■魅力ある居住環境の形成	●
■身近な景観形成の促進	●
■歴史・文化遺産の保全	●
■景観法・計画等の運用	●

**中心市街地や地域の活力再生**  
 人口の少子・高齢化や郊外地域の宅地需要、大規模小売店の立地等の影響から、中心市街地では人口減少、商店の減少など空洞化および活力が低下しています。このため、中心市街地の賑わい・活力の再生が課題です。

**地域の特色を生かした産業の推進**  
 景気の低迷や遊休荒廃農地の増加など産業に関する問題を踏まえ、本市が有する地域資源の見直しと、高速交通網の活用など利便性を活用した、産業基盤の形成や支援方策が課題です。

**災害に強いまちづくり**  
 本市は、山間部から平地部まで変化に富んだ地形を有し、土砂災害や水害に対する防災対策が課題です。また豪雪地帯で降雪量が多く、冬場の安全なまち・みちの確保が必要です。

**適正な土地利用の誘導・規制**  
 本市の土地利用では、土地利用制限の緩い地域に宅地需要や大規模施設が立地し、農地のスプロール化が問題です。このため、土地利用の適正な誘導・規制が課題です。

**人にやさしいまちづくり**  
 高齢社会への対応や本市に住んでいる人、訪れる人にやさしいまちづくりが課題です。

**恵まれた自然・美しい景観の保全**  
 山河の自然や棚田と集落からなる、農村の原風景など優れた景観資源を有しています。景観は、住みやすい居住環境の形成や経済資源として活用できる要素で保全に努める必要があります。

**先人が築いた歴史・文化の継承**  
 先人が残した文化や遺跡が多く残っており、これらは本市の歴史を伝える大切な財産です。この文化財の保護に努めるとともに後世に引き継いでいく必要があります。